


車載用地上デジタルチューナー LV-DT1300

取扱説明書／保証書



この度は車載用地上デジタルチューナーをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び操作手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。尚、読み終えた後、いつでも見られるように大切に保管してください。

本書の見かた

⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
【▲アップ】	各リモコンボタンの名称を表しています。
本書内で『走行中』とはパーキングブレーキがかかっていない状態の事を示しています。	

目次

ご使用上の注意	2	音声多重放送の選択方法	30
梱包内容	6	設定	31
メインユニット	6	設定メニュー	31
リモコン	6	チャンネル設定	32
付属品	7	受信設定	32
取付け方法	8	音声設定	33
B-CAS カードを挿入する	8	画面設定	34
フィルムアンテナの設置	10	B-CAS 情報	35
リモコン受光部の取付け	16	設定初期化	35
電源コードの取付け	17	付録	36
メインユニットの設置方法	19	市販 AV ケーブルを使用する場合	36
操作方法	22	緊急警報放送 (EWS) について	36
リモコンを操作する	22	故障かな?と思ったら	37
リモコン電池を交換する	23	チャンネル一覧	38
リモコン操作一覧	24	製品仕様	40
初期設定	25	保証規定	43
チャンネルを選択する	26	LV-DT1300 保証書	裏面
受信できるチャンネルを検索する	27		
地上デジタル放送と			
ワンセグ放送を切替える	28		
チャンネル情報を表示する	29		
番組表を見る	30		

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると生じる、または想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

警告 警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

注意 注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

警告

- 本製品を前方の視界を妨げる場所やハンドル、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、または同乗者に危険を及ぼす場所には取付けをしないでください。
- 本製品取付け作業中はバッテリーのマイナス端子を外してください。
- エアバッグが装着されている車両に取付ける場合は、絶対にエアバッグのカバー一部および作動時の妨げになるような場所には取付け、または配線をしないでください。
- 配線類は運転の妨げとならないように収納してください。
- 本製品の電源線から他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。
- 本製品取付け完了後、全ての車両電装品（ブレーキランプ、ライト、ホーンなど）が正しく作動するのを確かめください。
- 本製品は DC12V 車専用です。（DC24V 車へのお取付けはできません。）
- 本製品を分解したり改造しないでください。
- 配線は金属部や高温部を避けて行ってください。
- 画面が映らない、音が出ないなど本体の故障が考えられる場合はその状態で使用しないでください。
- 本製品（各パーツ）に異物が入ったり、水や飲み物がかかったり、煙がでる、変なにおいがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し必ずお買い上げ販売店にご相談ください。
- 危険ですので運転しながら本製品の使用、操作はしないでください。
- 運転者が本製品でテレビ等を見る場合は必ず安全な場所に車を停車させてください。

注意

- 本製品は必ず取扱説明書にしたがって正しく取付け、使用してください。
- 本製品の取付けには専門知識、技術、経験が必要です。必ずお買い上げの販売店またはカーディーラーに取付けを依頼してください。お客様ご自身で取付けられた場合は保証は受けられません。
- 付属の部品は取扱説明書通りに使用してください。その他の目的で使用しないでください。
- 本製品を下記のような場所に取付けしないでください。
 - ・雨が吹込むところや水のかかる場所。
 - ・湿気やホコリの多い場所。
 - ・振動の多い場所やしっかり固定できない場所。
 - ・ヒーターのダクト付近の温風があたる場所や直射日光があたる場所、カーペットの下等熱がこもりやすい場所等、高温になりやすい場所。
- 本製品を取付ける際は、通風孔をふさがないように取付けを行ってください。また、逆さや縦向きに設置しないでください。
- 配線を車両のシートレール等の可動部にはさみ込まないように注意して配線を行ってください。
- お使いのナビやモニターへの接続方法・手順に関しては、各製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本製品を使用する際は車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。
- 本製品は車載専用です。車載以外では使用しないでください。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
- 取付け方法、取付け車両により工具が必要になる場合があります。

地上デジタル放送とは・・・

- ・地上デジタル放送は、現行の地上アナログ放送がデジタル化された放送です。従来の地上アナログ放送よりも高画質な映像や多チャンネルの番組を楽しむことができます。
 - ・地上デジタル放送の携帯・移動体向けサービスに「ワンセグ」があります。「ワンセグ」とは地上デジタル放送の電波の約 6MHz の帯域を 13 個のセグメントに分割し、その 1 つのセグメントを利用して放送されることから、ワンセグと呼ばれるようになりました。
 - ・本製品は電波の受信状態により、地上デジタル放送とワンセグ放送を自動で切替える機能を採用しています。また、地上デジタル放送またはワンセグ放送に固定し、受信することもできます。
- ※本製品はデータ放送・字幕の受信には対応しておりません。

地上デジタル放送等の詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。

社団法人地上デジタル放送推進協会
<http://www.dpa.or.jp/>

地上デジタル放送の受信について

地上デジタル放送では下記のような場合等受信状態が悪くなると、映像にブレやブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。

- ・本製品の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンや携帯電話など）の車内での使用、またはそれらの機器を本製品のメインユニットやフィルムアンテナ、アンテナコードに近づけた場合。
- ・電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの近くでの本製品を使用した場合。
- ・受信状態が弱いときに、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンファンなどの車両電装品を作動させた場合。

上記のような場合、場所を移動するか、電子機器や無線利用機器を本製品から離して使用してください。また、高速走行中や停車中でも周囲の環境等によって受信状態は変化します。

※障害物などの影響により放送エリアでも受信できない場合があります。

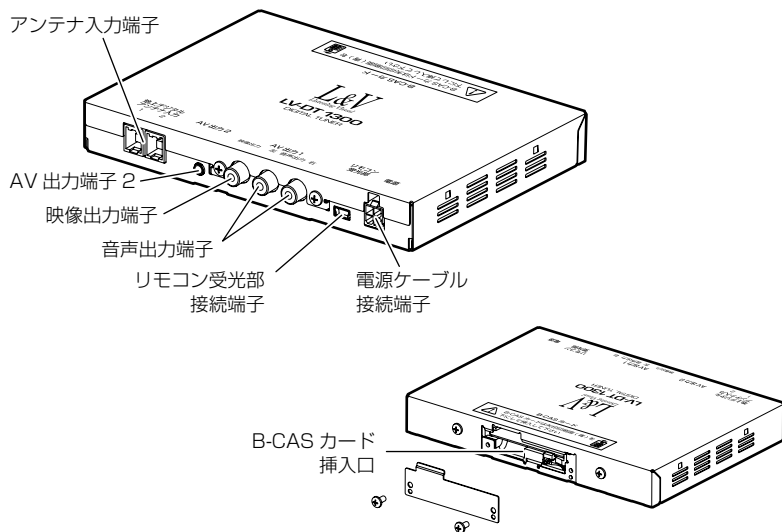
使用上のお願い

- ・コピーガードがかかっている番組は、録画機器を経由して視聴すると映像が正常に表示されない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は録画機器を経由しないで、直接本製品とテレビを接続してください。
- ・お客様がビデオデッキ等で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上権利者に無断で使用することはできません。
- ・本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社およびその他の著作権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要であり、また、マクロヴィジョン社が特別に許諾する場合を除き、家庭およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。改造したり、分解することも禁じられています。
- ・本製品は ARIB（電波産業会）規格に基づいた商品仕様になっています。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- ・国外で本製品を使用して有料放送サービスを楽しむことは、有料サービス契約上禁止されています。
- ・各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

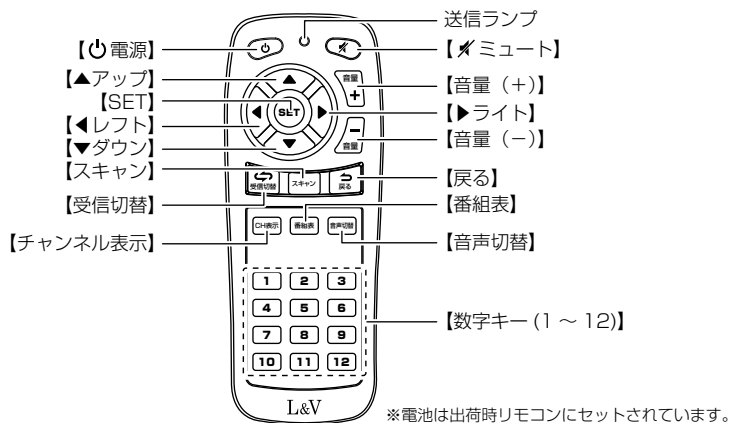
B-CAS カードについて

- ・B-CAS カードを挿入しないと、地上デジタル放送を受信することができません。（ワンセグ放送は受信できます）
- ・ダッシュボード上など、高温になる場所にカードを放置しないでください。カードの曲がり等で使用できなくなる恐れがあります。
- ・カードの台紙に記載の使用許諾契約約款をよくお読みのうえ、使用者ご自身でパッケージを開封し、カードを本製品に挿入してください。
- ・本製品に同梱の B-CAS カードは地上デジタル放送専用です。BS/110 度 CS デジタル放送対応受信機には使用しないでください。
- ・盗難防止のため、車両から離れる際は B-CAS カードを本製品から抜き、車内に残さないようにすることをおすすめします。

メインユニット

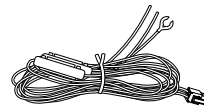


リモコン

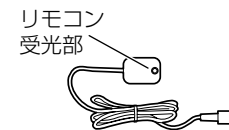


付属品

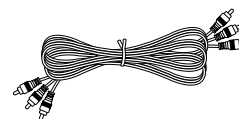
電源コード (1 個)
(約 3m)



リモコン受光部 (1 個)
(約 3m)



AV ケーブル (1 個)
(約 2.5m)



B-CAS カード (1 枚)



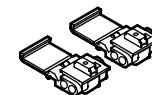
マジックテープ (2 セット)
(メインユニット固定用)



両面テープ (1 枚)
(リモコン受光部固定用)

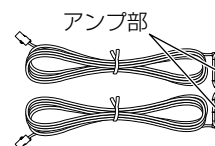


エレクトロタップ
(2 個)

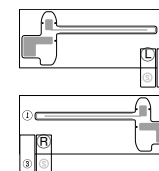


フィルムアンテナセット

アンテナコード
(左右各 1 個 / 約 5m)



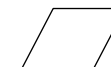
フィルムアンテナ
(左右各 1 個)



アースシート (左右各 1 枚)



脱脂クリーナー (1 枚)

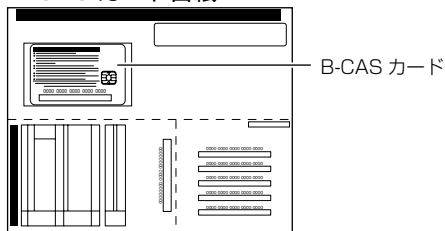


* 取扱説明書のイラストと実際の製品では一部形状が異なる場合があります。

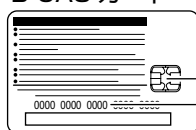
B-CAS カードを挿入する

B-CAS カードについて

B-CAS カード台紙



B-CAS カード



IC チップ

B-CAS カード番号

※B-CAS カード番号は B-CAS カードを管理するための番号です。
お問い合わせの際にも必要になるため、必ずメモして下さい。

⚠ 注意

- B-CAS カード台紙に記載の文面を必ずよくお読みのうえ挿入してください。
- 使用許諾契約約款をよくお読みください。
- B-CAS カードを挿入しないと、地上デジタル放送を受信することはできません。

B-CAS カード取扱上の注意点

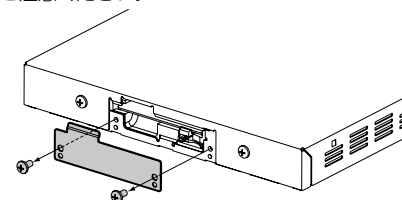
- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手で触らない。
- ICチップ部には手を触れない。
- 分解・加工は行わない。
- BS/110度CSデジタル放送対応受信機には使用しない。

B-CAS カードを破損したり、紛失・盗難された場合は、下記カスタマーセンターにお問い合わせください。

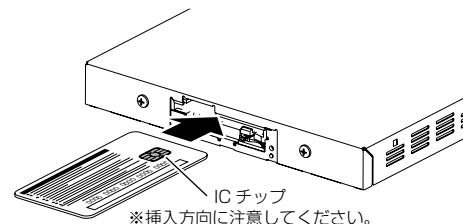
(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
TEL:0570-000-250 (詳しくは B-CAS カード台紙を参照ください)

B-CAS カードの入れ方

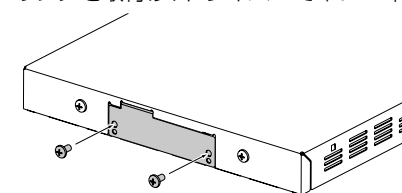
- 1) B-CAS カードを台紙から取外します。
B-CAS カードのパッケージを開封すると、台紙に記載の使用許諾契約約款に同意したものとみなされるため、開封前に必ずお読みください。
- 2) 本製品の B-CAS カード挿入口のフタを取外します。
ドライバーでネジ 2 本外して、B-CAS カード挿入口のフタを取外します。
※ネジの紛失にご注意ください。



- 3) B-CAS カードを挿入します。
B-CAS カードの矢印印刷面を下側 (IC チップ面を上側) にし、『カチッ』と音がするまで奥に挿込んでください。



- 4) B-CAS カード挿入口のフタを戻します。
B-CAS カードのフタを取付け、ドライバーでネジ 2 本で固定してください。



⚠ 注意

B-CAS カードを抜き差しする際は必ず電源を切ってから行ってください。

フィルムアンテナの設置

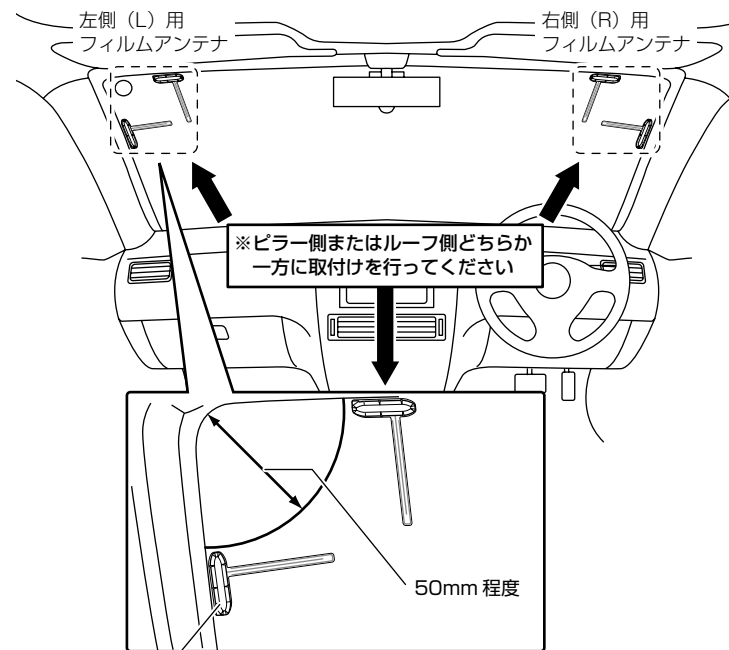
フィルムアンテナを取付ける前に必ずお読みください

⚠ 注意

- ・配線をするために、フロントピラーを一時的に取外す必要があります。車種によっては取付けができない場合があります。販売店にご相談ください。
- ・ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両には取付けすることができません。
- ・熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用している車種の場合には受信感度が極端に低下します。
- ・保安基準に適合させるため、必ずフロントウィンドウの指定の位置に取付けを行ってください。指定した位置以外に取付けをすると車検不適合と判断され、不合格になる場合があります。(道路運送車両の保安基準第 29 条第 4 項第 6 号)
- ・フィルムアンテナはフロントウィンドウ専用です。それ以外の場所に取付けをしないでください。受信感度が低下します。
- ・フィルムアンテナは、フロントウィンドウの車内側に貼付けてください。
- ・アンテナの保護シートを剥がしたあと、アンテナ貼付面には手をふれないでください。指紋やゴミが付着し粘着力が弱くなります。
- ・必ずケーブルおよびフィルムアンテナの引き回し等を十分に検討してから取付けを行ってください。一度貼付けると、貼直しできません。
- ・左ハンドル車に取付ける場合も本書にしたがって取付けを行ってください。
- ・他のアンテナを取付けている場合、電波干渉を防ぐため他のアンテナから本製品のフィルムアンテナを 15cm ~ 30cm 程度離して取付けてください。
- ・フィルムアンテナは、点検整備済ステッカー・検査標章などと重ならないように貼り付けてください。
- ・車種によってはナビゲーションの AV 入力端子がオプション (別売) の場合があります。確認の上、取付けを行ってください。

貼付け位置について

- ・フィルムアンテナは、点検整備済みステッカー・検査標章などと重ならないように貼付けてください。(フロントウィンドウの上端角から 50mm 程度離す)
- ・フィルムアンテナはフロントガラス上部でガラス面全長の 5 分の 1 の範囲内に貼付けてください。
- ・フィルムアンテナは、フロントウィンドウの内側に貼付けてください。それ以外の場所には貼付けないでください。
- ・道路運送車両の保安基準第 29 条第 4 項第 6 号に適合させるため、また、性能を十分に発揮させるために、必ず下図の位置に貼付けてください。

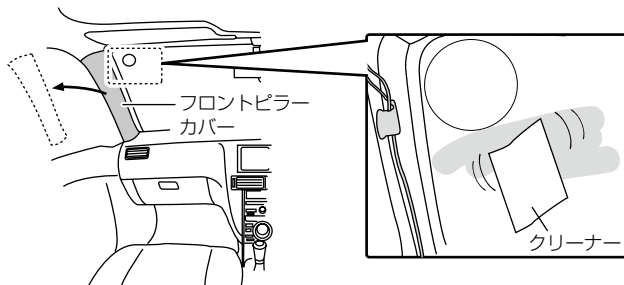


※本取扱説明書ではピラー横部分への取付けを基に説明を行います

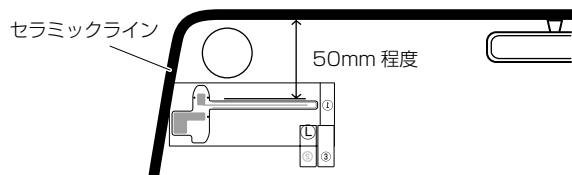
フィルムアンテナの取付け

※ 左側 (L) 用のフィルムアンテナを例に説明しています。左側貼付け後、同様に右側の貼付けを行ってください。

- 1) フロントピラーを取外し、フロントガラスを清掃する
フロントウィンドウ横のフロントピラーを取外し、フィルムアンテナの貼付け面を付属のクリーナーで綺麗に拭いてください。
※取付け部の油分・水分を十分に取ってから取付けを行ってください。



- 2) フロントガラスに貼る位置を確認する



⚠ 注意

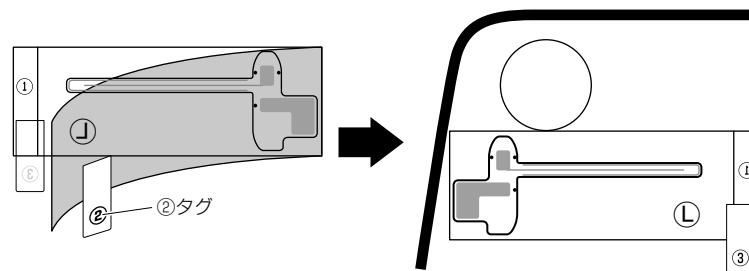
- ・フィルムアンテナを一度貼付けると貼直しができませんので、貼付け位置等を十分確認してください。
- ・フロントピラーを戻した際にアンテナコードのアンブ部が干渉しない位置に貼付けを行ってください。
- ・フロントガラスのフチにあるセラミックライン部には貼らないでください。
- ・フロントガラスに他のアンテナ (TV、GPS 等) がある場合は 15cm ~ 30cm ぐらい離して貼ってください。

👉 アドバイス

セラミックラインとは…
ウィンドウ端の黒い部分または黒い点々の箇所

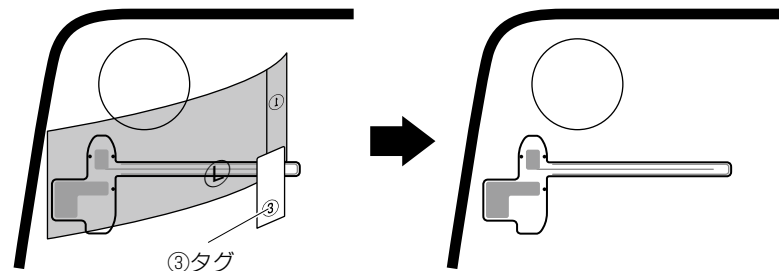
- 3) ①を押さえながら②のタグを持って、保護シート (透明) を剥がしながら、フィルムアンテナをフロントガラスに貼付けます

保護シートを剥がす際、保護シートにエレメントが残らないように剥がしてください。貼付け後、フィルムアンテナを布などでこすってガラス面にしっかりと定着させてください。



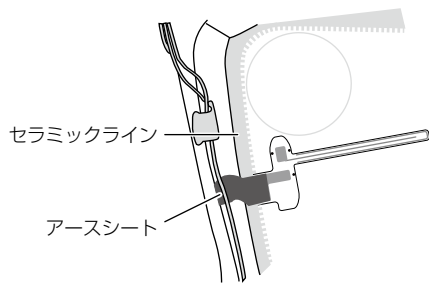
※フィルムアンテナをこする際、ヘラなど固いものを使用しないでください。破損の原因となります。

- 4) ③のタグを持って、保護シート (透明) を剥がします
保護シートを剥がす際、保護シートにエレメントが残らないようにゆっくりと剥がしてください。

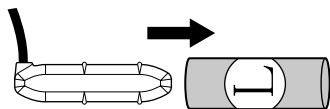


5) アースシートを貼付けます

付属のアースシートをフィルムアンテナのアース部と車体金属部へ貼付けます。

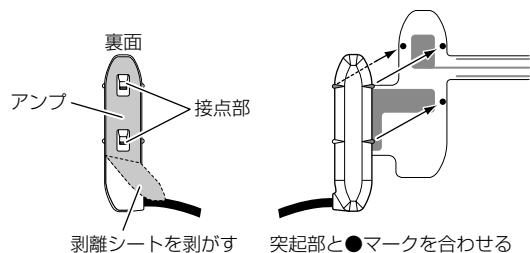


6) アンテナコードのアンプケースを外す。



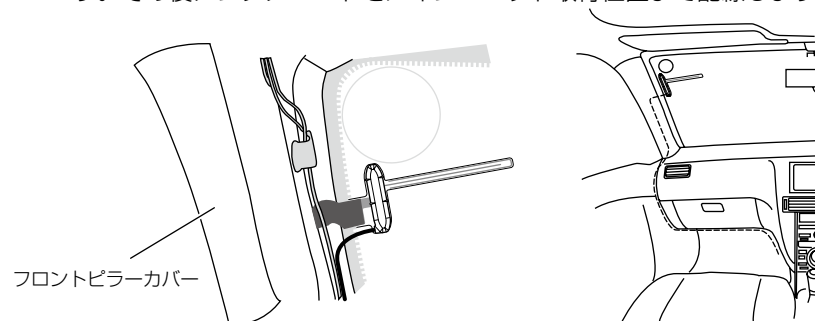
7) アンテナコードのアンプとフィルムアンテナを貼付けます。

アンテナコードのアンプの剥離シートを剥がし、アンプの突起部とフィルムアンテナの●マークを合わせ接続してください。確実に固定するため、約 20 秒間押し付けてください。



8) アンテナコードの配線を行います

アンテナコードがかみ込まないように、フロントピラーを元に戻します。その後アンテナコードをメインユニット取付位置まで配線します。



※ 配線を束ねて取付けを行うと映像にブロックノイズが出たり音声が途切れたりすることがあります。

9) 同様に右側 (R) 用のフィルムアンテナを取付ける

⚠ 注意

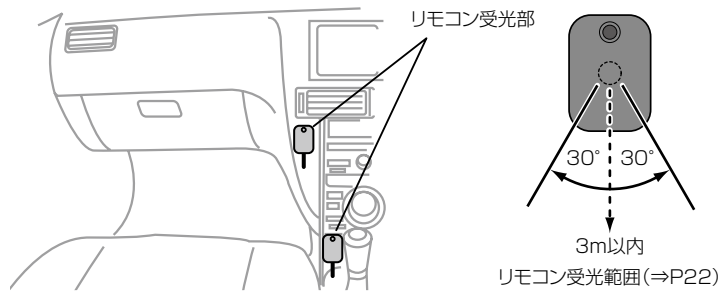
素手でアンプの接点部には触らないでください。

リモコン受光部の取付け

取付けする場所の汚れや油分を拭取り、リモコン受光部裏面に両面テープを貼付け、取付けます。

リモコンの信号を受けやすく、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。

取付け例

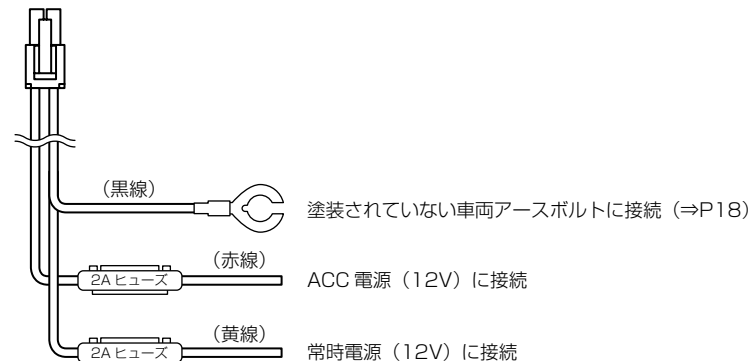


⚠ 注意

直射日光が当たる場所に取付けを行うと、リモコン操作ができなくなったり、誤動作の原因となる場合があります。

電源コードの取付け

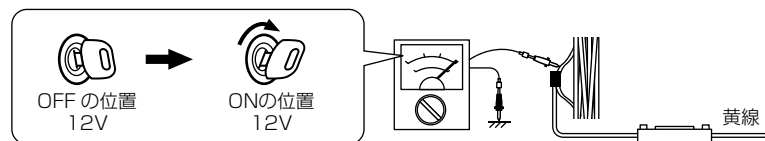
電源コードを車両の常時電源・ACC 電源・アースボルトに接続します。



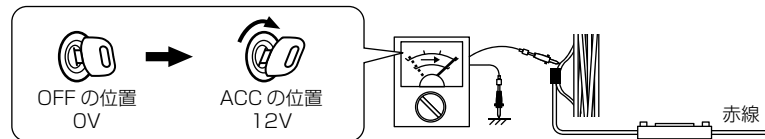
常時電源 / ACC 電源線の接続

付属電源コードの常時電源 / ACC 電源線を車両の配線に付属のエレクトロタップで接続します。

常時電源の場合



ACC 電源の場合



※ OFF の位置で電圧が 0V にならない車両はイグニッション電源へ接続してください。

⚠ 注意

ACC 線はイグニッションキーが ACC 位置で電圧が 12V、OFF の位置で必ず 0V になる車両の配線に接続してください。

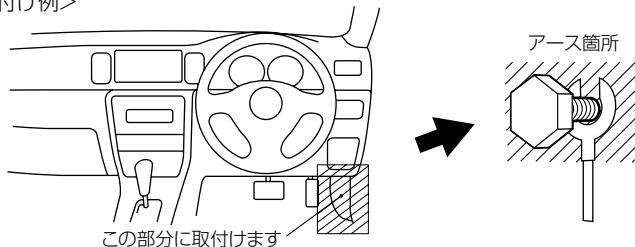
アース線の接続

電源コードのアース端子を車両アースボルトへ確実に共締めしてください。

⚠ 注意

アース端子とフレームの間に樹脂・塗装等があると確実なアースが取れません。そういった場所へアース端子を取付けると動作が不安定になることがあります。

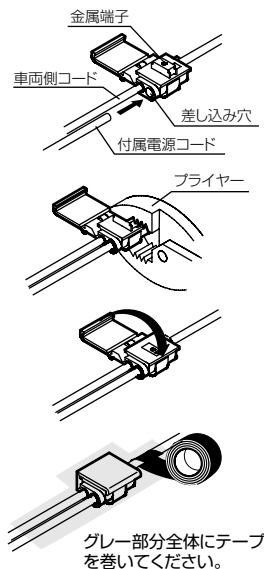
<取付け例>



👉 アドバイス

エレクトロタップを使った接続方法

- 1) 車両側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、付属電源コードは差し込み穴からストッパーまで深く挿入します。
- 2) プライヤー等で金属端子を完全に押し込みます。
- 3) カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。
- 4) 最後に市販の絶縁テープを巻いて接続部を保護する

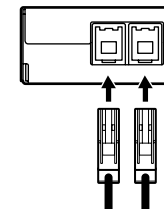


メインユニットの設置方法

メインユニットの接続方法

- 1) メインユニットにアンテナコードを接続してください。

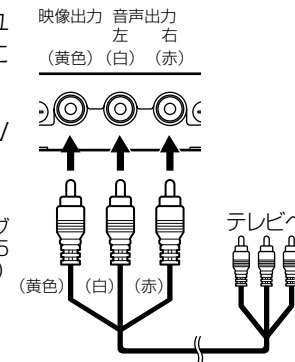
※ アンテナコードのコネクタは左右どちらに差込んでも構いません。



- 2) 付属 AV ケーブルの RCA 端子をメインユニットの映像出力端子 / 音声出力端子に接続します。
- 3) AV ケーブルの RCA 端子をテレビの AV 入力へ接続します。

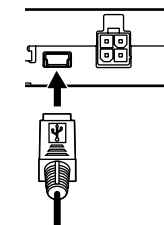
【2 台のテレビに接続する場合】

※ 2 台同時に接続する場合は、市販の AV ケーブルを別途お買い求め頂き、AV 出力 2 (Φ 3.5 ミニジャック) に接続してください。(⇒ P36)

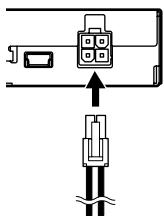


- 4) リモコン受光部の端子をメインユニットのリモコン受光部ジャックへ接続してください。

※ 端子の向きに注意して取付けをしてください。



- 5) メインユニットの電源ジャックに電源コードを接続してください。



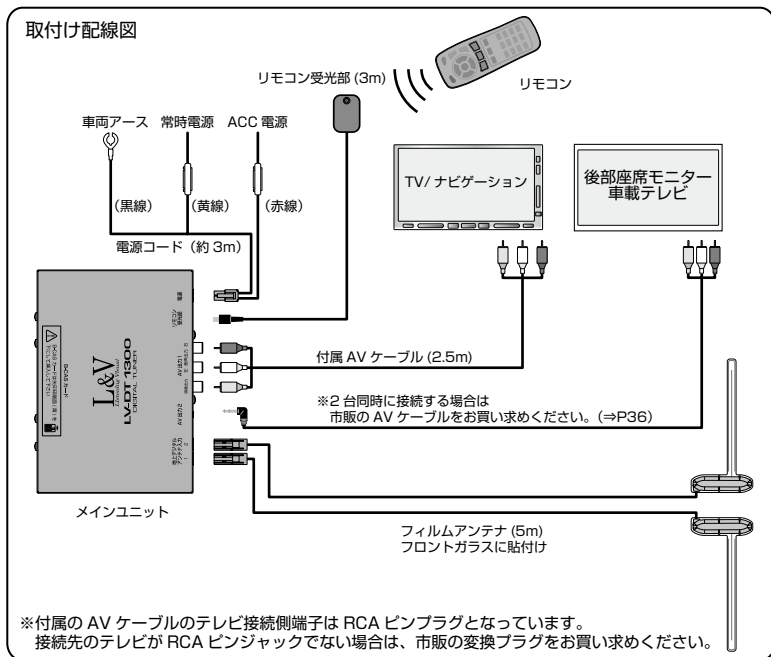
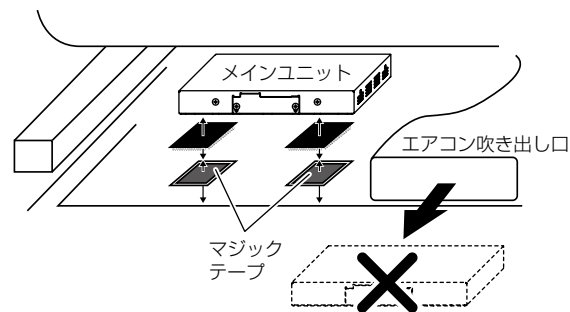
メインユニットの固定方法

アンテナコード、電源コード、リモコン受光部コードなどコード類を車の運転の邪魔にならないようにまとめ、付属のマジックテープでメインユニットを固定してください。

⚠ 注意

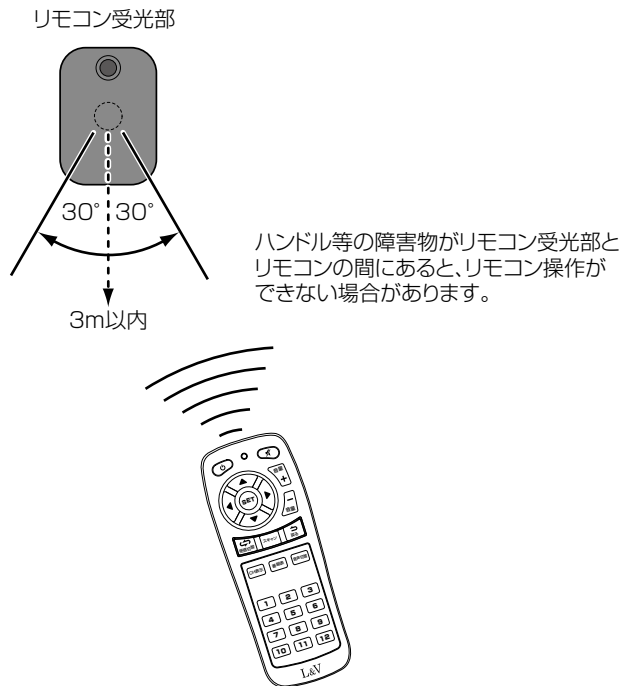
- 結露等によりメインユニットの故障のおそれがありますので、エアコン吹き出し口やその付近に取付けない様に注意してください。
- 取付ける場所（ファンモーターの近く等）によっては車両ノイズの影響を受ける場合があります。その場合はメインユニットの取付ける場所を変更してください。

- 取付け例：シート下取付け



リモコンを操作する

- リモコン操作ができるのは、リモコン受光部から水平左右 30 度、直線距離約 3m 以内です。リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できない場合があります。



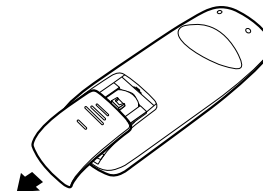
⚠ 注意

- 本製品はリモコン無しで操作（設定等）することはできません。
- 運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。
- 直射日光が当たっていると、リモコン操作が効きにくくなる場合があります。

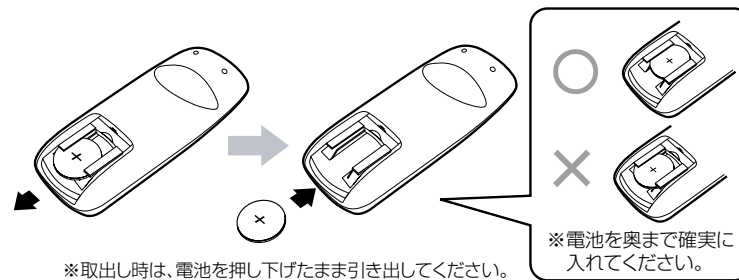
リモコン電池を交換する

リモコンの電池寿命はご使用状態によって変わりますが、1日10回のスイッチ操作で約1年です。リモコンが作動しない、又は操作が鈍くなったなどの場合は、リモコンの電池交換をしてください。

- 1) 電池カバーを矢印の方向へスライドさせて外す

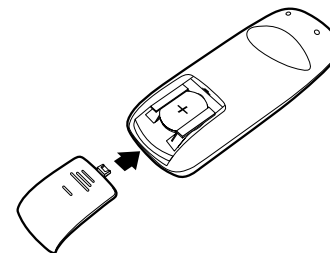


- 2) 古い電池を押し下げて取り出し、新しい電池 (CR2025 × 1 個) を+ (プラス) 面を上にして入れる



※取出し時は、電池を押し下げたまま引き出してください。

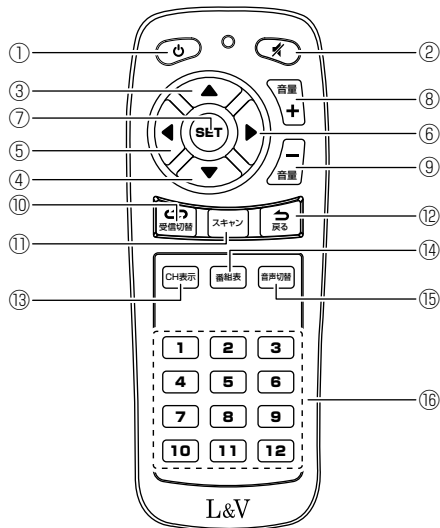
- 3) 電池カバーを矢印の方向へスライドさせて取付ける



⚠ 注意

- 電池の上下を間違えて入れると、故障する恐れがありますのでご注意ください。
- 本製品に同梱の電池は動作テスト用のため、電池寿命が短い場合があります。

リモコン操作一覧

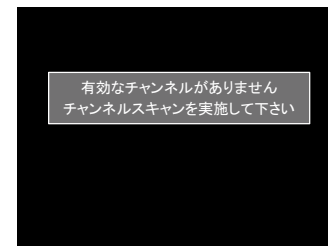


番号	名称	短押し	長押し
①	電源	—	電源 ON/OFF (⇒ P25)
②	ミュート	消音	—
③	アップ	チャンネル選局 (⇒ P26)	—
④	ダウン	チャンネル選局 (⇒ P26)	—
⑤	レフト	チャンネルサーチ (⇒ P27)	—
⑥	ライト	チャンネルサーチ (⇒ P27)	—
⑦	SET	決定	設定メニュー (⇒ P31)
⑧	音量アップ	音量を上げる	—
⑨	音量ダウン	音量を下げる	—
⑩	受信切替	地デジ放送とワンセグ放送の切替え (⇒ P28)	—
⑪	スキャン	—	チャンネルスキャン (⇒ P25)
⑫	戻る	操作のキャンセル	—
⑬	チャンネル表示	チャンネル表示 (⇒ P29)	チャンネルリストの表示 (⇒ P29)
⑭	番組表	番組表の表示 (⇒ P30)	番組情報の表示 (⇒ P30)
⑮	音声切替	主 / 副音声の切替え (⇒ P30)	—
⑯	数字キー	チャンネル選局 (⇒ P26)	チャンネル登録 (⇒ P27)

初期設定

チャンネルの初期設定

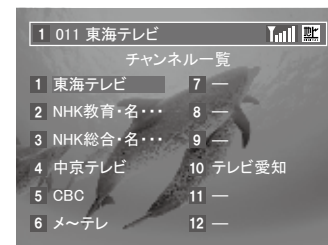
1) 【電源】を**長押し**し、本体の電源をONにします。
「有効なチャンネルがありません。チャンネルスキャンを実施してください。」と表示されます。



2) 【スキャン】を**長押し**します。検索が開始され、「スキャン中です」の表示がされます。



3) 検索が終わると、受信したチャンネルの一覧を表示します。



アドバイス

- ・【設定メニュー】⇒【チャンネル設定】からチャンネルスキャンすることもできます。(⇒P32)
- ・走行中や、受信感度の悪い場所でチャンネルスキャンを行った場合、受信エリア内でも受信できないチャンネルがある場合があります。その際は場所を変えて、停車した状態でスキャンを行ってください。

注意

チャンネルスキャン中に電源をOFFにしないでください。故障の原因となることがあります。

チャンネルを選択する

チャンネル選択方法①

- 1) 【▲アップ】または【▼ダウン】を押して選択する場合

チャンネルスキャン終了後、本体に記録されたチャンネルを順に選択することができます。



チャンネル選択方法②

- 1) 【数字キー（1～12）】を押すと、指定チャンネルを受信することができます。

👉 アドバイス

地上デジタル放送では同じチャンネル番号で複数の番組を放送していることがあります（マルチチャンネル）。その場合、数字キーを繰り返し押すことによって選択することができます。



受信できるチャンネルを検索する

- 1) 【◀レフト】または【▶ライト】を押すと、現在地で受信できるチャンネルの検索が開始され、「サーチ中です」の表示がされます。



- 2) 受信できるチャンネルがあれば、その番組が表示されます。また【数字キー】を長押しすることによって検索されたチャンネルを、長押しした【数字キー】に登録することができます。

※元々登録されている【数字キー】にも上書きして登録されます



- 3) 再度【◀レフト】または【▶ライト】を押すと、別のチャンネルの検索が開始されます。



👉 アドバイス

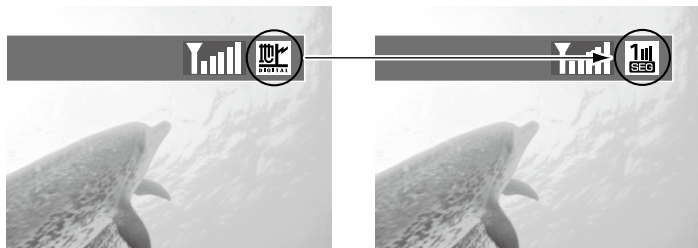
チャンネルサーチで受信したチャンネルは本体に記憶しません。そのため一度スキャンしたチャンネルを消さずに受信できるチャンネルを検索することができます。旅行先等、一時的に受信できるチャンネルを探したい場合におすすめします。

地上デジタル放送とワンセグ放送を切替える

本製品は受信電波の強弱によって地上デジタル放送とワンセグ放送を自動的に切替える機能を採用しています。

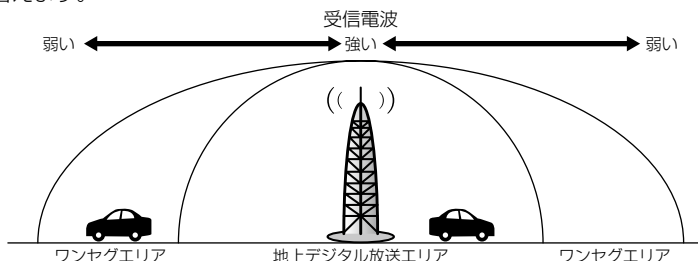
また、設定メニュー内の【受信設定】(⇒P32)にて設定を【手動切替】にすることで、リモコン操作により、地上デジタル放送とワンセグ放送のどちらかに受信を固定することもできます。

- 1) 【↔受信切替】を押すたびに「地上デジタル放送」と「ワンセグ放送」を切替えます。



アドバイス

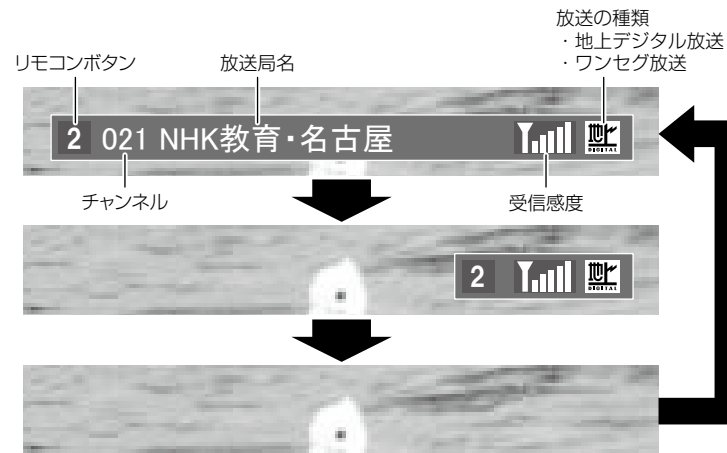
- ・地上デジタル放送とワンセグ放送の切替え時に一瞬映像と音声途切れる事があります。
- ・放送局によっては、地上デジタル放送とワンセグ放送で放送している番組が異なっている場合があります。
- ・【自動切替】設定時に【↔受信切替】を押すと、一時的に放送は切替わりますが、しばらくすると受信感度に応じて自動で放送を切替えます。
- ・【自動切替】設定時は受信電波の強弱によって地上デジタル放送とワンセグ放送を切替えます。



チャンネル情報を表示する

チャンネル表示

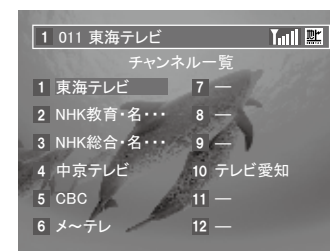
【CH表示】を押すと下記のような情報が表示されます。また【CH表示】を押すごとに下記の順に表示が切替わります。



チャンネル一覧表示

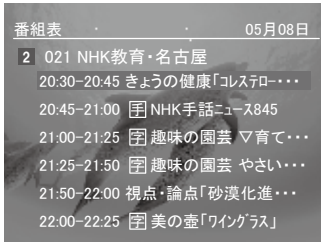
- 1) 【CH表示】を**長押し**するとチャンネルスキャン(⇒P25)で検索されたチャンネルの一覧が表示されます。
- 2) 【▲アップ】、【▼ダウン】、【◀レフト】、【▶ライト】でチャンネルを選び、【SET】を押すと選局したチャンネルが表示されます。

※操作を中止するときは、再度【CH表示】を**長押し**するか、【➡戻る】を押してください。



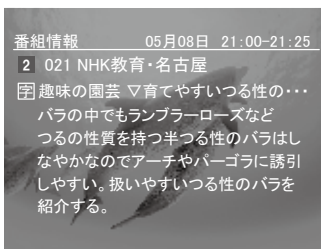
番組表を見る

- 1) 番組の視聴中に、【番組表】を押すと番組表が表示されます。



- 2) 【▲アップ】または【▼ダウン】で番組を選び、【SET】を押すと番組詳細情報 (EPG 情報) が表示されます。また番組の視聴中に、【番組表】を長押しすると、現在視聴中の番組の詳細情報が表示されます。

※ 操作を中止するときは、再度【番組表】を押すか、【戻る】を押してください。



👉 アドバイス

複数ページある場合、【◀レフト】【▶ライト】で次ページに切替えることができます。

音声多重放送の選択方法

音声多重放送を受信しているときは、主音声と副音声を切替えて聴くことができます。

- 1) リモコンの【音声切替】を押すごとに【主音声】→【副音声】→【主/副音声】を繰り返します。

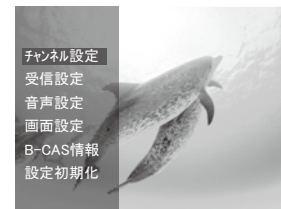


👉 アドバイス

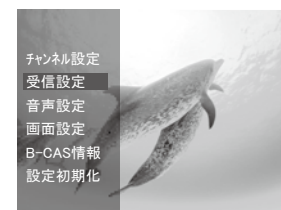
【設定メニュー】⇒【音声設定】から音声を選択することもできます。(⇒ P33)

設定メニュー

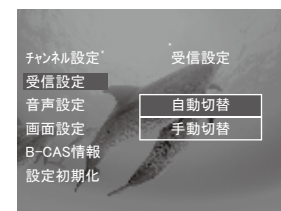
- 1) リモコンの【SET】を長押しすると、設定メニューが表示されます。



- 2) 【▲アップ】または【▼ダウン】で設定項目を選びます。

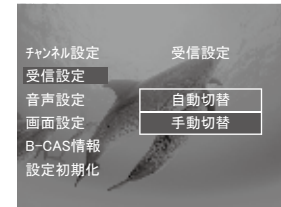


- 3) 【SET】を押すと設定内容が表示されます。



- 4) 【▲アップ】・【▼ダウン】で設定内容を選択し、【SET】を押します。

※ 設定項目によっては【◀レフト】・【▶ライト】で選択します。



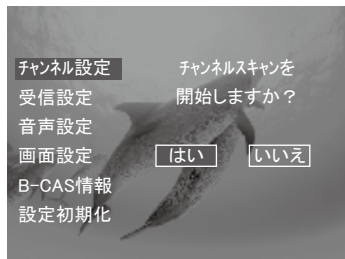
チャンネル設定

現在受信できるチャンネルを検索して、本体に記憶させることができます。

- 1) 設定メニューの【チャンネル設定】を選択します。

👉 アドバイス

リモコンの【スキャン】を長押ししてもチャンネルスキャンをすることができます。(⇒ P25)

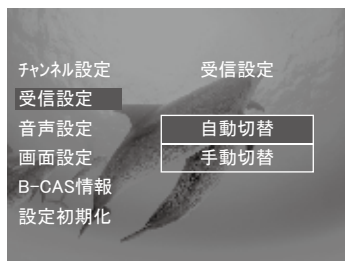


- 2) 【はい】を選択するとチャンネルスキャンが開始され、現在受信できるチャンネルが検索されます。

受信設定

「地上デジタル放送」、「ワンセグ放送」の切替えを、【自動切替】と【手動切替】から選択することができます。【初期設定：自動切替】

- 1) 設定メニューの【受信設定】を選択します。



- 2) 【自動切替】と【手動切替】から選択します。
 - [自動切替].....電波の受信感度に応じて、「地上デジタル放送」と「ワンセグ放送」を自動で切替えます。
 - [手動切替].....リモコンの【↔ 受信切替】を押すごとに、「地上デジタル放送」と「ワンセグ放送」を切替えます。

👉 アドバイス

【手動切替】に設定して、地上デジタル放送に固定している場合、受信感度が悪くなくてもワンセグ放送には切替わず、映像・音声は出力されません。

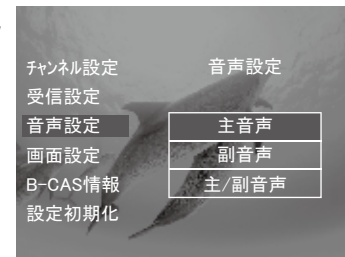
音声設定

音声多重放送を受信しているときは、主音声と副音声を切替えて聴くことができます。【初期設定：主音声】

- 1) 設定メニューの【音声設定】を選択します。

👉 アドバイス

リモコンの【音声切替】を押しても切替えることができます。(⇒ P30)



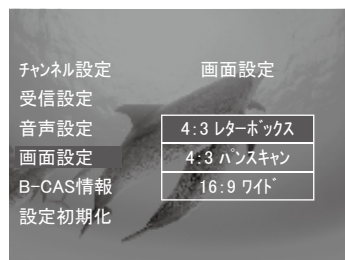
- 2) 【主音声】、【副音声】、【主 / 副音声】から選択することができます。

画面設定

接続したテレビに合わせて画面サイズを切替えることができます。

【初期設定：4:3 レターボックス】

- 1) 設定メニューの【画面設定】を選択します。



- 2) 下記アドバイスを参考に設定を行ってください。

アドバイス

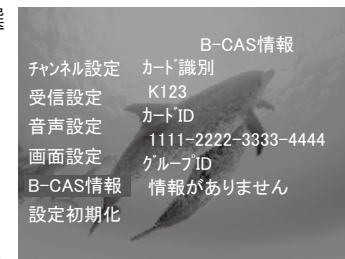
入力映像	4:3 レターボックス	4:3 パンスキャン	16:9 ワイド
 16:9の映像	 上下に帯が入る	 左右がカットされる	 画面いっぱいに表示される
 左右に帯のある16:9の映像	 上下左右に帯が入る	 左右の帯がカットされる	 画面いっぱいに表示される

※ ご使用のモニターの画面設定によって異なる場合があります。ご使用のモニターの取扱説明書もあわせてご覧ください。

B-CAS 情報

B-CAS カードの情報を確認することができます。

- 1) 設定メニューの【B-CAS 情報】を選択します。

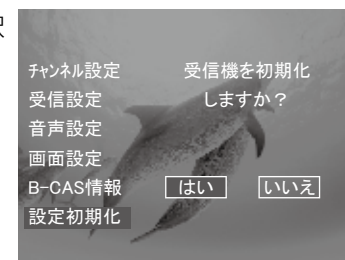


- 2) B-CAS カードの情報が表示されます。

設定初期化

本製品の設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

- 1) 設定メニューの【設定初期化】を選択します。



- 2) 【はい】を選択すると設定が初期化され、工場出荷時の状態に戻ります。

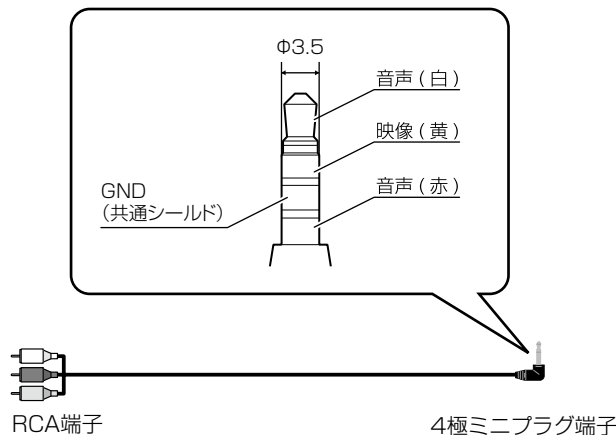
アドバイス

- ・設定初期化を行いますと、製品の工場出荷時の状態となります。
- ・設定初期化の後に放送受信したい場合は、必ずチャンネルスキャンを行ってください。(⇒P25)

市販 AV ケーブルを使用する場合

本製品で使用できる AV ケーブルの 4 極ミニプラグの仕様は下記のイラストのようになっています。

使用する際は必ず、下記仕様に沿った AV ケーブルを使用してください。



緊急警報放送 (EWS) について

大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に緊急警報放送 (EWS) を放送局から発信し、視聴者にいち早くお知らせする放送システムです。

緊急警報放送 (EWS) 受信時の動作

- 緊急警報放送が開始されると、チャンネル情報の受信感度表示部が【緊急】の文字に切替わります。現在視聴中のチャンネルの【数字キー (1 ~ 12)】を押すことで緊急警報放送に切替えてください。
- 緊急警報放送が終了しても、自動的に元のチャンネルには戻りません。

故障かな？と思ったら

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	●電源コードが車両配線にしっかり接続されていますか？	17 ページ
	●電源コード内のヒューズが切れていませんか？	17 ページ
映像が出ない (付属 AV ケーブル使用)	●AV ケーブル (付属品) とメインユニットの接続は正しいですか？ ●映像 (黄) 音声 (白、赤) に接続されていますか？ ●テレビ側は RCA 入力端子に接続されていますか？ ●テレビ (モニター) が「RCA 入力※」に切り替わっていますか？ ※テレビによっては VTR、VIDEO 等、呼び方は異なります。 ●リモコンの電源スイッチで電源が入っていますか？	19,25 ページ
映像が出ない (市販 AV ケーブル使用)	●AV ケーブル (市販品) とメインユニットの接続は正しいですか？ ●テレビ側は RCA 入力端子に接続されていますか？ ●テレビ (モニター) が「RCA 入力※」に切り替わっていますか？ ※テレビによっては VTR、VIDEO 等、呼び方は異なります。 ●本機に対応している AV ケーブルですか？ ●リモコンの電源スイッチで電源が入っていますか？	19,25,36 ページ
映像にブロックノイズが出る 映像が静止画になる	●デジタル放送の電波が届きにくい場所、または他の電波の干渉が原因と思われる。 場所を移動することにより電波状態が変化します。	4 ページ
	●配線を束ねて取付けを行っていませんか？	15 ページ
砂嵐のようなノイズが出る	●取付けた場所によってメインユニットにノイズが影響している可能性が考えられます。その場合はメインユニットの取付け位置を変更してください。	21 ページ
リモコンで操作ができない	●リモコン受光部を直射日光の当たる場所に取付けていませんか？	16,19 ページ
	●リモコン受光部とメインユニットは確実に接続されていますか？	22,23 ページ
	●リモコン操作範囲内ですか？	
	●受光部とリモコンの間に障害になるものはありませんか？ ●リモコンの電池は消耗していませんか？ ●電池は正しく装着されていますか？	
音声切り替えても音声 が変更しない	●放送番組は音声多重放送ですか？	30 ページ
チャンネル設定ができない	●設定を行う場所によっては全く受信できない場所があります。その場合は場所を移動して再度、設定を行ってください。	25 ページ
	●使用する地域によってはデジタル放送 (ワンセグ放送) が視聴できない地域や放送電波の出力を調整している地域もあります。その場合は受信できる地域で使用しているか確認してください。	4 ページ
「受信できません」と表示 がでる	●設定で受信メモリーされていても場所の移動や電波状態により放送局によっては受信できない場合があります。	-
車のバッテリーがあがる	●付属電源コードの接続先を確認してください。	17 ページ

チャンネル一覧

全国地域別のチャンネル一覧表です。受信できる目安としてご確認ください。

北海道 (札幌)	北海道 (函館)	北海道 (旭川)	北海道 (帯広)	北海道 (釧路)	北海道 (北見)	北海道 (室蘭)
3 NHK総合・札幌	3 NHK総合・函館	3 NHK総合・旭川	3 NHK総合・帯広	3 NHK総合・釧路	3 NHK総合・北見	3 NHK総合・室蘭
2 NHK教育・札幌	2 NHK教育・函館	2 NHK教育・旭川	2 NHK教育・帯広	2 NHK教育・釧路	2 NHK教育・北見	2 NHK教育・室蘭
1 HBC札幌	1 HBC函館	1 HBC旭川	1 HBC帯広	1 HBC釧路	1 HBC北見	1 HBC室蘭
5 STV札幌	5 STV函館	5 STV旭川	5 STV帯広	5 STV釧路	5 STV北見	5 STV室蘭
6 HTB札幌	6 HTB函館	6 HTB旭川	6 HTB帯広	6 HTB釧路	6 HTB北見	6 HTB室蘭
8 UHB札幌	8 UHB函館	8 UHB旭川	8 UHB帯広	8 UHB釧路	8 UHB北見	8 UHB室蘭
7 TVH札幌	7 TVH函館	7 TVH旭川	7 TVH帯広	7 TVH釧路	7 TVH北見	7 TVH室蘭

青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城
3 NHK総合・青森	1 NHK総合・盛岡	3 NHK総合・仙台	1 NHK総合・秋田	1 NHK総合・山形	1 NHK総合・福島	1 NHK総合・水戸
2 NHK教育・青森	2 NHK教育・盛岡	2 NHK教育・仙台	2 NHK教育・秋田	2 NHK教育・山形	2 NHK教育・福島	2 NHK教育・東京
1 RAB青森放送	6 IBCテレビ	1 TBCテレビ	4 ABS秋田放送	4 YBC山形放送	8 福島テレビ	4 日本テレビ
6 ATV青森テレビ	4 テレビ岩手	8 仙台放送	8 AKT秋田テレビ	5 YTS山形テレビ	4 福島中央テレビ	6 TBS
5 青森朝日放送	8 めんこいテレビ	4 ミヤギテレビ	5 AAB秋田朝日放送	6 テレビユー山形	5 KFB福島放送	8 フジテレビジョン
	5 岩手朝日テレビ	5 KHB東日本放送		8 さくらんぼテレビ	6 テレビユー福島	5 テレビ朝日
						7 テレビ東京
						12 放送大学

栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	山梨
1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・甲府
2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・甲府
4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 YBS山梨放送
6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 UTY
8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン
5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日
7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京
3 とちぎテレビ	3 群馬テレビ	3 テレビ埼玉	3 ちばテレビ	9 東京MXテレビ	3 tvk	
12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学	

新潟	長野	富山	石川	福井	岐阜	静岡
1 NHK総合・新潟	1 NHK総合・長野	3 NHK総合・富山	1 NHK総合・金沢	1 NHK総合・福井	3 NHK総合・岐阜	1 NHK総合・静岡
2 NHK教育・新潟	2 NHK教育・長野	2 NHK教育・富山	2 NHK教育・金沢	2 NHK教育・福井	2 NHK教育・岐阜	2 NHK教育・静岡
6 BSN	4 テレビ信州	1 KNB北日本放送	4 テレビ金沢	7 FBCテレビ	1 東海テレビ	6 SBS
8 NST	5 ABS長野朝日放送	8 BBT富山テレビ	5 北陸朝日放送	8 福井テレビ	5 CBC	8 テレビ静岡
4 TeNYテレビ新潟	6 SBC信越放送	6 チューリップテレビ	6 MFO	4 テレビ朝日	6 メ〜テレ	4 静岡朝日テレビ
5 新潟テレビ21	8 NBS長野放送	8 富山朝日放送	8 石川テレビ	8 福井朝日テレビ	8 岐阜朝日テレビ	8 静岡朝日テレビ

愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良
3 NHK総合・名古屋	3 NHK総合・津	1 NHK総合・大津	1 NHK総合・京都	1 NHK総合・大阪	1 NHK総合・神戸	1 NHK総合・奈良
2 NHK教育・名古屋	2 NHK教育・名古屋	2 NHK教育・大津	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪
1 東海テレビ	1 東海テレビ	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送
5 CBC	5 CBC	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ
6 メ〜テレ	6 メ〜テレ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ
4 中京テレビ	4 中京テレビ	10 よみうりテレビ	10 よみうりテレビ	10 よみうりテレビ	10 よみうりテレビ	10 よみうりテレビ
7 テレビ愛知	7 三重テレビ	3 BBCびわ湖放送	5 KBS京都	7 テレビ大阪	3 サンテレビ	9 奈良テレビ

和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島
1 NHK総合・和歌山	3 NHK総合・鳥取	3 NHK総合・松江	1 NHK総合・岡山	1 NHK総合・広島	1 NHK総合・山口	3 NHK総合・徳島
2 NHK教育・和歌山	2 NHK教育・鳥取	2 NHK教育・松江	2 NHK教育・岡山	2 NHK教育・広島	2 NHK教育・山口	2 NHK教育・徳島
4 MBS毎日放送	8 山陰中央テレビ	8 山陰中央テレビ	4 RNC西日本テレビ	3 RCCテレビ	4 KRY山口放送	1 四国放送
6 ABCテレビ	6 BSSテレビ	6 BSSテレビ	5 KSB瀬戸内海放送	4 広島テレビ	3 TVSテレビ山口	
8 関西テレビ	1 日本海テレビ	1 日本海テレビ	6 RSKテレビ	5 広島ホームテレビ	5 YAB山口朝日	
10 よみうりテレビ			7 テレビせとうち	8 TSS		
5 テレビ和歌山			8 OHKテレビ			

香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本
1 NHK総合・高松	1 NHK総合・松山	1 NHK総合・高知	3 NHK総合・福岡	1 NHK総合・佐賀	1 NHK総合・長崎	1 NHK総合・熊本
2 NHK教育・高松	2 NHK教育・松山	2 NHK教育・高知	3 NHK総合・北九州	2 NHK教育・佐賀	2 NHK教育・長崎	2 NHK教育・熊本
4 RNC西日本テレビ	4 南海放送	4 高知放送	2 NHK教育・福岡	3 STSサガテレビ	3 NBC長崎放送	3 RKK熊本放送
5 KSB瀬戸内海放送	5 愛媛朝日	6 テレビ高知	2 NHK教育・北九州	8 KTNテレビ長崎	4 KKTくまもと県民	4 KKTくまもと県民
6 RSKテレビ	6 あいテレビ	8 さんさんテレビ	1 NHK九州朝日放送	5 NCC長崎文化放送	5 熊本朝日放送	5 熊本朝日放送
7 テレビせとうち	8 テレビ愛媛		4 RKB毎日放送	4 NHK福岡放送		
8 OHKテレビ			5 FBS福岡放送	7 TVQ九州放送		
			8 TNCテレビ西日本			

大分	宮崎	鹿児島	沖縄
1 NHK総合・大分	1 NHK総合・宮崎	3 NHK総合・鹿児島	1 NHK総合・那覇
2 NHK教育・大分	2 NHK教育・宮崎	2 NHK教育・鹿児島	2 NHK教育・那覇
3 OBS大分放送	6 MFT宮崎放送	1 MBC南日本放送	3 RBCテレビ
4 TOSテレビ大分	3 UMKテレビ宮崎	8 KTS鹿児島テレビ	5 QAS琉球朝日放送
5 OAB大分朝日放送	4 中京テレビ	5 KKB鹿児島放送	8 沖縄テレビ (OTV)
		4 KYT鹿児島県民TV	

*放送局・中継アンテナの増設により実際のチャンネルと異なる場合があります。

2008年10月調査

付録

製品仕様

●メインユニット

受信チャンネル	UHF13ch ~ 62ch
放送方式	地上デジタル放送 (12セグ/ワンセグ)
電源電圧	DC12V
消費電力	6W
消費電流 (待機時)	10mA 以下
映像出力レベル	1.0Vp-p/75 Ω
音声出力 (最大) レベル	0.5Vrms
使用温度範囲	-5°C ~ 50°C
外形寸法	172 (W) × 120 (H) × 23 (D) / mm
重量	510g
入出力端子	アンテナ入力端子 × 2 AV 出力端子 × 2 (RCA 端子 × 1、Φ 3.5 ミニジャック × 1)

●フィルムアンテナ (左右共通)

外形寸法 (エレメント部)	105 (W) × 42 (H) / mm
// (アンブ部)	9.8 (W) × 40 (H) × 5.5 (D) / mm
受信周波数範囲	470 ~ 770MHz
出力インピーダンス	50 Ω
消費電流	最大 20mA
重量	40g (ケーブル含む)
配線長	約 5m

●リモコン受光部

電源電圧	DC3V
外形寸法	19 (W) × 27 (H) × 13.2 (D) / mm
重量	45g (ケーブル含む)
配線長	約 3m

●リモコン

外形寸法	43 (W) × 110 (H) × 20 (D) / mm
重量	40g (電池含む)
使用電池	リチウム電池 CR2025 (1 個)